

学童保育をなくさないで署名

橋下市長に34万筆の 署名を提出しました！

2012年5月29日

大阪市学童保育連絡協議会

会長 梶座 三千子

本日、午前9時30分、橋下徹大阪市長宛の要望署「学童保育をなくさないで！」を提出しました。5月2日の第1次提出以降、積み上げた署名数は**340,066筆**となりました。大阪市の学童保育関係者はもとより、大阪府内の学童保育や様々な団体・個人、そして全国の学童保育関係者から寄せられた署名です。とりわけ全国の学童保育関係者のみなさんには大阪市の学童保育補助金廃止は全国の問題、自分たちに突きつけられた問題と、緊急署名に取り組んでいただきました。

みなさんのご支援に心より感謝の意を表します。

本当にありがとうございました。

4月5日のPT試案で学童保育への補助金を廃止する案が発表され、その日緊急役員会を開催、そして翌日の4月6日の運営委員会で緊急署名に取り組むことを決定しました。2ヶ月にも満たない短期間での取り組みに、これほどの署名数を積み上げることができたのは、大阪市の学童保育をなくすな！の願いが多くの人々の心を捉えたからに他なりません。

学童保育なくすなの声は、補助金廃止から学童保育継続という素案（5月11日）にさせることができました。しかし、継続案とはなったものの学童保育に対しては全児童対策事業の「補完的な」事業扱いであり、決して固有な事業として大阪市が責任をもつものではありません。しかも2年後には「3事業再構築」と学童保育を含めた放課後事業の合体事業がめざされています。合体された事業では学童保育の固有な役割や活動が継続されないことは横浜市や名古屋市の事例が示すとおりです。

緊急署名については本日の提出でひとまずの区切りとしますが、しかし大阪市の学童保育施策が好転したわけではなく、むしろ素案が示したように「マイナス」からの再スタートです。補助金廃止撤回運動で作りだした運動のエネルギーを引き続き連続させながら、大阪市の学童保育を補完的な事業ではなく放課後事業の中心として政策が掲げられるよう、大阪市へ要求していきます。

みなさんの支援が、私たち大阪市の学童保育関係者を“励まし”、そして何よりも“決して諦めない勇気”を与えてくれました。本当に心からの感謝のお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

大阪市学童保育連絡協議会は5月27日に定期総会を開催し、新しい役員体制で、会長も新たに梶座三千子を選出し運動に取り組んでおります。引き続きご支援をよろしく申し上げます。

※ 緊急署名はひとつの区切りとしましたが、議会提出の署名ではないので期限が決まったものではありません。今後、お手元に届けられた署名がありましたらお手数ですが大阪市の学童保育まで郵送していただけますようお願いいたします。

送付先 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-2-2-202 TEL 06-6763-4381

大阪市学童保育連絡協議会

お問い合わせは事務局（泊）まで、よろしくお願い致します。